

科目名		保育実習指導 I				担当者名	副島 里美 瑞穂 優 (共同)
		必修					
ナンバリング		授業の種類	演習	単位数	2	開講時期	1年・④～2年・②
授業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・実習の意義を学び、テーマを設定することができる。 ・望ましい実習生としての姿を理解し、よりよい環境で実習に望む体制を作ることができる。 ・部分実習を実践するために、指導案が書けるようになる。 ・施設における支援計画の理念と実際を学び、記録に反映させることができる。 					
到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・実習の意義を学び、テーマを設定することができる。 ・部分実習を実践するために、指導案が書けるようになる。 ・施設における支援計画の理念と実際を学び、記録に反映させることができる。 ・各実習(保育所・施設)を振り返り、以降の実習や実践に活かすことができる。 					
授 業 計 画	回	内 容					
	1	授業の目的と概要について (保育所)					
	2	保育実習 (保育所) に際しての留意事項: 子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの考慮等望ましい実習生としての心構え					
	3	保育実習の課題の明確化: 実習課題の設定と準備学習 (保育所: 保育士からのお話)					
	4	保育実習における記録と評価について (保育所)					
	5	保育実習における計画と実践について (保育所)					
	6	保育実習の総括と自己評価について (保育所)					
	7	今後の学習に向けた課題の明確化について (保育所: 実習報告会)					
	8	授業の目的と概要について (施設)					
	9	保育実習 (施設) に際しての留意事項: 利用者の人権と最善の利益の考慮、プライバシーの考慮等望ましい実習生としての心構え					
	10	保育実習の課題の明確化: 実習課題の設定と準備学習 (施設: 施設職員からのお話)					
	11	保育実習における記録と評価について (施設)					
	12	保育実習における計画と実践について (施設)					
	13	保育実習の総括と自己評価について (施設)					
	14	今後の学習に向けた課題の明確化について (施設: 実習報告会)					
15	授業のまとめ						
成績評価方法と基準		評価方法	評価基準			割合	
		提出物	実習の自己テーマ、記録、指導案、などの作成			90%	
		授業態度	授業への積極的参加、予習復習の励行			10%	
			テストあるいはレポート			%	
教科書		『保育実習のしおり』 (長野短期大学編) 『あなたがつくる みんなでつくる 保育所実習』 (萌文書林) 厚生労働省編 『保育所保育指針解説書』 (フレーベル館)					
参考図書		適宜指示する					
準備学習		適宜指示する					
課題等に対するフィードバック方法		適宜指示する					
準備学習(予習・復習等)に必要な時間		1～2時間を推奨する					
その他 留意事項							
実務経験と資格等							